



新たな年へ思いをこめて

(河津小学校6年生 書き初め)

2025年 年頭のあいさつ

information より快適で利便性の高い施設へ

Topics つないだタスキで過去最高5位入賞!

Tax info 住民税・所得税の申告、税の作品

コンパクトで魅力ある、 賑わいのまちづくり

河津町長 岸 重宏



新年あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては、健やかに希望に満ちた新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

高齢者を支える世代を増やす

国においては、石破新政権による政策動向が注目されるところで、町は昨年まで、コロナ禍前のような賑わいを取り戻すべく観光を中心とした、国や県の補助事業などを活用した新規取り組みなどを行ってきました。しかし未だ回復していない町内の厳しい経済状況等を考えた時に、根本的なインフラ整備や見直しも行いながら、健全な財政を堅持しつつ課題や懸案事項をさらに進めなければならぬと考えております。

人口減少と少子高齢化により数々の問題があります。その解決策として高齢者を支える働く世代や子育て世代を増やす事で、高齢者を経済的な面でも支えることもできるなど、多方面へ波及できることとなりますので、継続的な根本政策として考えております。

共創のまちづくり

これら諸課題を進めるためには、

町民と共に創り上げていく「共創のまちづくり」として、民間の力も活用し、町民と共に「Change(変化)から「Sustainable(持続可能)」へ新しい時代のまちづくりに取り組み、これまで進めて来たDX推進や地域公共交通対策、新たな学校など教育施設配置計画、防災減災事業など具体的推進に向けた取り組みに挑戦して、新たな施策を進めることを目指していきます。

Well・Beingなまちづくり

これからの幸福度の尺度は、単に施設だけの充実を求めるのではなく、そこに住む人がいかに気持ちよく過ごせるか(ウェル・ビーイング)が重要です。コンパクトで魅力ある、賑わいのまちづくりを進める中で、移住・定住に限らず、河津を好きになってくれる関係人口を増やし、都市と農山漁村の二拠点で活躍してくれる人たちを増やすことが大事であると思っております。

結びに

町民の皆様にとって、本年がすばらしい年となりますようお祈り申し上げます、年頭のあいさついたします。

謹賀新年 2025 年頭のごあいさつ

町長室に歴代町長名札掛けが設置されました▶





町民と共にある議会を目指し

河津町議会議員長 渡邊 弘

新

年あけましておめでとうございます。町民の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和6年をふりかえり

昨年を振り返りますと、人口の減少問題、少子高齢化、物価高騰、能登半島の災害などわが町にも見過ごすことのできない問題が発生しております。

住みたい・来たいまち河津

町では予算編成の際、「住みたい・来たいまち河津」を目標に①誰もが安心して暮らせるまちづくり②豊かさをみんなで創るまちづくり③未来を創る人が育つまちづくりの重点テーマのもと各施策に取り組むこととしました。

事業内容としては、保健福祉センターの長寿命化工事、小学校統合による旧東・西小学校の活用事業、DX推進事業（河津町LINE公式アカウント導入）、長野地区防災拠点施設、七滝駐車場公衆トイレ施設、南禅寺伝来諸像国重要文化財指定などが挙げられます。議会といたしましては、各事業の効果も含め行政と審議を重ね議決をして事業の推進に取り組んでおります。

新年の始まりにあたり

人口の減少問題、少子高齢化問題などの問題は大きな課題として取り組むと共に、議会改革の継続と推進を取り組んでまいりたいです。第一常任委員会、第二常任委員会、広報常任委員会、議会改革特別委員会、各委員会において地域公共交通問題、DX改革推進、防災減災、子育て支援など町民の身近にある課題について議会は町民の意見を聞き、調査研究をして取り組んでいきたいです。

町民と共にある議会を目指し

議会は町民の代表であり町民の意見を町に届ける大きな役割を背負っています。議会と町民との距離の解消を目指し、情報の開示など積極的に取り組んでまいります。町民の住みやすい町づくりのために一層努力していく所存です。本年もどうぞよろしくお願いたします。

結びに

本年が皆様にとって輝かしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます、年頭のあいさつとさせていただきます。



◀議長室で執務に励む渡邊議長



町民の皆さまがより快適に河津町保健福祉防災センターを利用できるよう、また町職員の事務所環境の改善を図ることを目的として施設の改修を実施します。

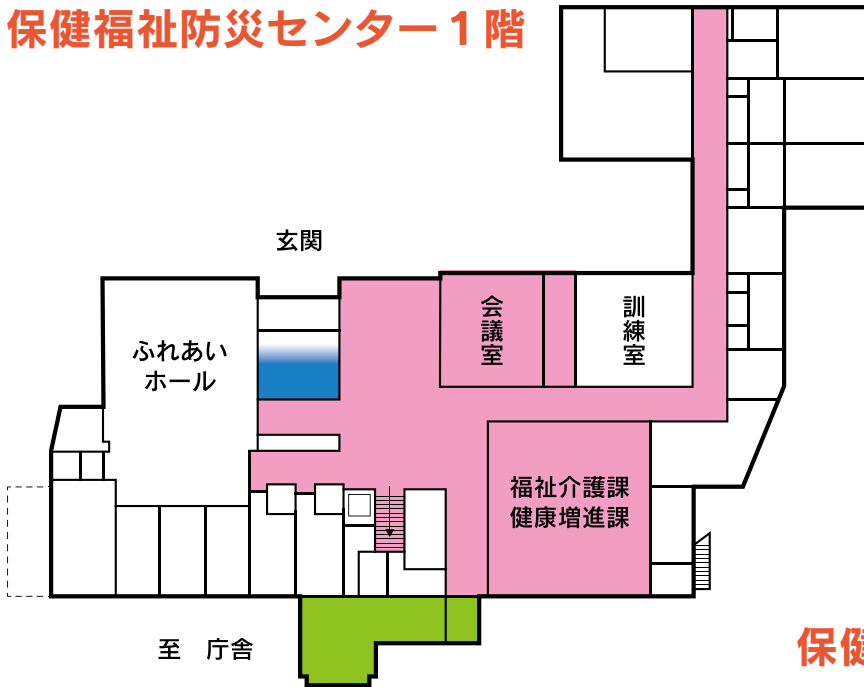
information

保健福祉防災センター改修

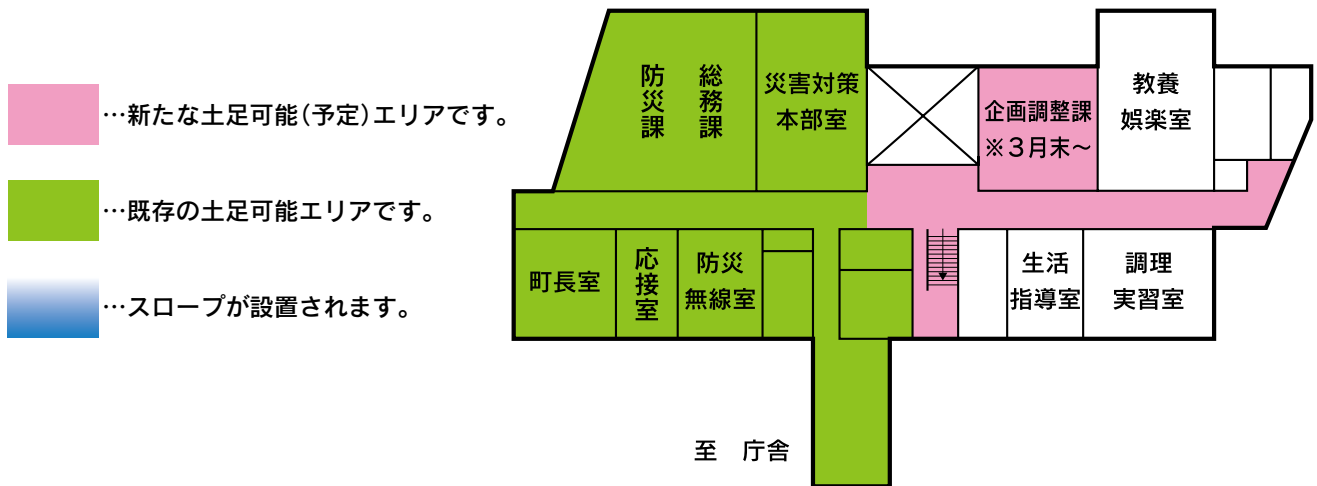
より快適で

利便性の高い施設へ

保健福祉防災センター1階



保健福祉防災センター2階



- …新たな土足可能(予定)エリアです。
- …既存の土足可能エリアです。
- …スロープが設置されます。

▼土足可能エリアの拡張

現在土足禁止となっているエリアを縮小し、土足可能とすることで健康増進課・福祉介護課窓口まで靴のまま移動できます。また、保健福祉防災センターと庁舎の行き来が容易となります。

ふれあいホールや調理実習室などに入室する際は、靴を履き替えてご利用いただきます。

●令和7年1月末頃完成予定です。

▼正面玄関のスロープ拡張

玄関段差解消のためのスロープを設置します。

玄関の下駄箱を撤去し、すっきりとした段差のない使いやすい玄関となります。

●令和7年1月末頃完成予定です。

▼企画調整課が移設

課の増加や人員増に対応するため、新たに事務スペースを確保します。教養娯楽室横の図書室と倉庫を事務スペースとして企画調整課を移設します。

●令和7年3月末頃実施予定です。

つないだタスキで 過去最高5位入賞！

第25回しずおか市町対抗駅伝競争大会が11月30日、静岡市内で行われ、小学生から40歳代までの男女12人の選手が静岡県庁から草薙陸上競技場までの42.195kmをそれぞれが練習の成果を発揮し走り切りました。



1_ 町代表選手団
2_ タスキをつないでゴールする山下永吉選手
3_ 選手団を代表して抱負を述べる中谷桐子主将

河津の海の幸で応援！



市町対抗駅伝大会に合わせて、草薙競技場前広場では、県内各地の特産品やグルメを集めた「夢逸品市場」が開かれ、河津町漁業経営振興会が出店しました。河津町のブースでは、サザエのつぼ焼きの販売やショウジンガニやカメノテのみそ汁をふるまい、来場者から人気を集めました。

県 内全市町35市町から37チームが参加し、町部には12町12チームがエントリーした市町駅伝。河津町選手団はチーム一丸となって走り切り、これまでで過去最高の2時間26分23秒で町の部5位入賞という記録・順位ともに過去最高の結果を収めました。また、11区を走った田畑煌静さん、下峰さんが区間賞を受賞するなど、これまでの練習の成果を発揮しました。大会当日は、気持ちのいい快晴に恵まれ、ふるさとの誇りと町民の期待を背負った選手たちは、ゴール地点の草薙競技場まで懸命にタスキをつなぎ、熱戦を繰り広げました。



河津町選手団
監督
大坪 宏さん
=浜=

最高のプレゼントを貰いました！これまでやってきたことが正しかったと選手が思わせてくれました。



河津町選手団
団長
榎本 良治さん
=下佐ヶ野=

12人の選手が予定通り、いや予定以上に頑張って走ってくれた成果です。毎年応援して下さる町民のみなさまに感謝申し上げます。

住民税・所得税の申告をお忘れなく

令和7年1月1日現在、河津町に住んでいる人は、住民税の申告または確定申告で、令和6年中の所得を申告してください。申告をしなかった場合、所得証明書が発行されない、国民健康保険税の軽減措置が受けられないなどの不利益が生じる場合がありますので忘れずに申告しましょう。

☎ 住民税申告：町民生活課税務係 ☎34-1928 確定申告：下田税務署 ☎22-0185

1 住民税の申告受付（役場）

と き 2月17日(月)～3月17日(月)
9時～12時・13時～16時 ※土日祝日を除く

ところ 役場2階 第2会議室

方法

- ①町ホームページから申告書をダウンロードし、郵送で申告する。(希望者には申告書を郵送します)
- ②役場で申告する。(事前予約制)

事前予約 申告は**事前予約**をお願いします。

※予約開始1月14日(火)～

- ①河津町公式 LINE 予約
※あらかじめ友だち追加が必要です。

- ②電話予約

町民生活課税務係 ☎34-1928

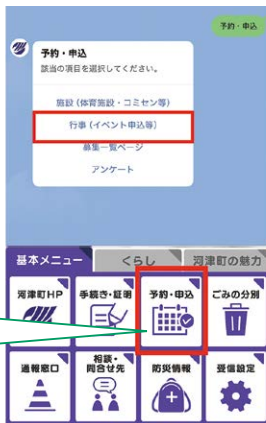
※8時15分～17時

(土日祝日を除く)



友だち追加

- ①「予約・申込」を選択
- ②「行事（イベント申込等）」から申し込み



申告内容によっては、下田市民スポーツセンターで確定申告を行ってもらう場合があります。

持ち物

- ・本人確認書類（マイナンバーカードなど）
- ・令和6年分の収入（所得）を証明する書類等（給与所得、公的年金等の源泉徴収票等）や必要経費が分かるもの
- ・事業、不動産所得のある人は、収入及び経費がわかる帳簿や書類等
- ・各種控除に必要な証明書等（医療費控除の明細書、各種保険料等の控除証明書等）

書類事前作成のねがい

- ▶医療費控除を申告する人は、**必ず**事前に医療費を集計した「医療費控除の明細書」を作成してください。
- ▶事業・農業・不動産所得がある人は**必ず**事前に収支を集計した「収支内訳書」を作成してください。
- ▶用紙は役場で配布しています。また、町ホームページ、国税庁のホームページからダウンロードし、印刷できます。

2 確定申告相談会場（下田税務署出張相談）

と き	2月26日(水) 9時30分～12時、13時～15時30分 ※事前に町民生活課へ予約をお願いします。
ところ	役場2階 第2会議室
その他	税務署の職員が来庁し、電子申告（e-Tax）による申告相談を行いますので、ご利用ください。 ※譲渡所得（土地・建物等の売却による所得）及び贈与税の申告相談は、当会場では受け付けておりません。

- 所得税の確定申告等については下田税務署 ☎22-0185（代表）へお問い合わせください。
※税務署では電話受付を自動音声により案内しております。ご用件に応じて番号を選択してください。

伊豆下田納税貯蓄組合連合会では、税に関する関心を高め、税の役割を正しく理解してもらうことを目的に、小学6年生と中学生を対象に、税の作品を募集し、優秀作品を表彰しました。

伊豆下田納税貯蓄組合連合会
税の優秀作品

ポスターの部

●静岡県納税貯蓄組合連合会

優秀賞

河津小 鈴木 もも



3 確定申告受付

令和6年分の確定申告は、スマホとマイナンバーカードを利用した「ご自宅からのe-Tax申告」をぜひご利用ください。国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、画面の案内に沿って金額等を入力するだけで、所得税、消費税及び贈与税の申告書や青色申告決算書・収支内訳書の作成・e-Taxによる送信ができます。

作成コーナーは
こちらから



作成コーナー

区分	所得税の確定申告等	無料税務相談所
とき	2月17日(月)～3月17日(月) ※土日祝除く 9時～17時 (受付終了時間16時)	2月19日(水)～2月21日(金) 9時30分～12時、13時～16時
持ち物	※入場には「入場整理券」が必要です。入場整理券は、確定申告会場での配布、またはLINEアプリを使ったオンラインによる事前発行の二つの方法で配布しています。 (入場整理券の配布状況に応じて、後日の来場をお願いする場合があります。)	
ところ	下田市民スポーツセンター (サンワーク下田) <下田市敷根761> 第一会議室、第二会議室	
その他	確定申告会場では、基本的には自分でマイナンバーカードを利用したスマホ申告をしていただきますので、事前にマイナポータルアプリをインストールすると申告書の作成がスムーズに行えます。「署名用電子証明書」、「利用者証明用電子証明書」のパスワードについてご不明な場合は、役場町民生活課窓口係 (☎34-1932) にお問い合わせください。	



国税庁 LINE
公式アカウント

未税と

河津小 六年堤優芽果

静岡県下田財務事務所長賞
河津小 高木 そら
河津町長賞
河津小 鈴木 もも

習字の部

● 下田税務署長賞
河津小 鈴木 来海

● 静岡県下田財務事務所長賞
河津小 高木 そら

● 伊豆下田税務協議会会長賞
河津小 北林 希子
河津小 山田 鈴華

● 下田市・賀茂郡租税教育推進協議会会長賞
河津小 島崎 環
河津小 野田 竜生

● 伊豆下田納税貯蓄組合連合会
佳作
河津小 土屋 駿人
河津小 稲葉 陽大

納税表彰

下田税務署・伊豆下田税務協議会

● 河津町教育長賞
河津小 正木 千喜

● 伊豆下田税務協議会会長賞
河津小 坂内 こと子

● 下田市・賀茂郡租税教育推進協議会会長賞
河津小 正木 統真

● 下田税務署長賞
河津中 山本 紗良

● 伊豆下田納税貯蓄組合連合会
佳作
河津中 鳥澤 蒼生

● 下田税務署・伊豆下田税務協議会納税表彰は11月11日、河津町役場で行われました。

● 伊豆下田税務協議会会長表彰
堤 透さん 上佐ケ野

平成19年に伊豆下田青色申告会、農業部会副部長に就任以降、会活動に積極的に携わり、現在は、農業部長として会の発展に貢献するとともに、e-Taxの普及拡大に積極的に取り組み、農業部会内では100%近い利用率を達成しています。

まちの 出来事

いざというときに備えて

地域防災訓練

静岡県の地域防災の日に合わせて、12月1日町内各地で地域防災訓練が行われ、1,950人が訓練に参加しました。河津中学校では、会場型訓練が行われ、避難所の設営訓練や、炊き出し訓練、エアロシェルター設営訓練などが行われ、中学生は消防団員の指導で放水訓練を行いました。また、陸上自衛隊板妻駐屯地の隊員が応急救護や、ロープワークの講習も行い、参加者と一緒に練習をするなど、防災について改めて考える機会となりました。



1_ 役場職員による説明を聞く参加者
2_ テント設営訓練
3_ 放水訓練をする河津中学生

海老網漁のお手伝い

生活価値体験ツアー

町では11月24日、12月1日の2日間、関係人口創出、移住定住促進を目的とした伊勢海老漁業体験を谷津漁港で実施しました。2日間で延べ18人の参加者が集まり、伊勢海老漁の際に網についた貝や海藻などを取り除く作業など、都市住民が普段なかなか体験できない作業を地元の漁師と交流しながら行いました。



網に絡みついた海藻を一生懸命取り外す参加者

雨で冷えた体をイノシシ鍋で温める来場者



伊豆の踊り子がお出迎え

七滝観光協会 滝まつり

七滝観光協会は11月20日、初景滝前にて滝まつりを開催しました。町内で各種催しが行われる観光イベント「伊豆天城路 河津秋まつり」の一環として開催されました。会場では山伏や伊豆の踊り子、学生に扮した役場職員が観光客を出迎え、猪鍋や、猪肉のフランクフルトや焼きしいたけなど、観光客は天城ならではの食材を使ったもてなしを味わいました。

役になりきって歌って踊る

さくら幼稚園 お楽しみ発表会

さくら幼稚園お楽しみ発表会が12月6日に行われました。年少・年中・年長の園児らがオペレッタやお遊戯、合奏など練習の成果を披露しました。年中園児のオペレッタ「おおかみと七ひきのこやぎ」では、役になりきって歌って踊るかわいらしい姿がみられ、一生懸命に演技する園児らに保護者からは笑顔で大きな拍手が送られました。



オペレッタ「おおかみと七ひきのこやぎ」で役になりきる園児たち

竹内選手による講演を熱心に聞く生徒



夢をかなえるために

くふうハヤテベンチャーズ静岡 竹内選手講演会

12月4日、河津中学校は町内出身者でプロ野球ウエスタン・リーグ「くふうハヤテベンチャーズ静岡」で投手として活躍する竹内奎人^{けいと}さんを講師として招き、全校生徒に向けて講演会を開催しました。「夢をかなえるための『考えるチカラ』」をテーマに、生徒は、夢を実現するための考え方を学ぼうと熱心に竹内選手の話に耳を傾けました。

にぎわい溢れる姫宮通り

第45回 河津寄って軽トラ市とテント市

河津寄って軽トラ市とテント市が12月8日笹原姫宮通りで行われました。36台の軽自動車と愛知県新城市や長野県山形村のテントなどが並び、とんとんコーナーや介護家族の会、民生児童委員、人権擁護委員、防災課による啓発活動、ダンスサークルBDAによるダンス発表などが行われ、買い物をしながらイベントを楽しむ来場者の様子が見られました。



買い物に訪れた人で溢れる会場

剪定作業に励む参加者



河津桜を美しく咲かせよう

河津桜守人の会 合同剪定会

河津桜守人の会は12月6日、かわづ花の会、かわづふるさと案内人、町観光協会と合同で2月に開催が予定されている河津桜まつりを前に、河津桜の剪定作業を河津川沿いで実施しました。当日は約30人の参加者が集まり、交差した枝や枯れ枝などを中心に丁寧に剪定作業を行い、今年も美しい桜が咲くよう汗を流しました。



薬剤師の仕事体験する宮崎さん

MY 92 DREAM



人の心に 寄り添える薬剤師

宮崎 夏帆さん

みやざき かほ
地区 笹原
河津中学校3年

昨年、中学校の職場体験学習でヒカリ薬局に行かせてもらい、ずっと気になっていた部屋に実際に入ることができました。部屋の中には壁一面薬の棚になっていて、処方箋に書いてある薬

私の将来の夢は薬剤師になることです。小さい頃から薬局に行く度に、薬剤師さんだけが入れられる部屋では何が行われているのかと、好奇心が湧いたのがきっかけです。また、薬剤師さんが優しく丁寧にわかりやすく薬の説明をしてくれたのでだんだんと憧れをもつようになりました。

職場体験に行ったことでより夢を叶えたいという思いが強くなりました。優しく、人の心に寄り添える薬剤師を目指して、今自分ができる努力を続けていきたいです。

を棚から出したり、調剤したりしました。また、職場体験中に、患者さんが前回薬をもらった日を見て、薬剤師さんが残り具合について質問する様子や患者さんと軽い会話をしている姿などを見て、普段はあまり意識していなかった薬剤師さんの気遣いにも気づくことができました。



▲岩場の開拓

河津町地域おこし協力隊通信

登り日和 vol.8



あいば ゆうと
相葉 勇仁 (30歳)

御前崎市出身。2022年4月、河津町地域おこし協力隊に着任。任期3年。スポーツ推進活動を行う。

<https://www.facebook.com/kawadu.kyouryokutai/>

3年間の集大成

協力隊になって約3年、今回のコラムで最後になるかと思えます。振り返ると長いようであつという間の3年間で、メインの活動場所として、お世話になり続けたバガテル公園内にある KURA-RUN OUTDOORS の代表、倉原卓也さんのボルダリングジムクラクラ。子ども向けにボルダリングスクールを開催したり、倉原さんの知り合いの方の山にある岩場に連れて行ってもらい、岩場の開拓をさせていただきました。今はその活動の延長で、ジムに来てくれる常連さんや SNS を通じて、興味のある人を募りイベントとして開催していま

す。その他持ち運び可能な壁も作り、町内外のさまざまなイベントにも参加してきました。他には母校のアニマルキーパーズカレッジとのつながりを生かして町のイベントにふれあい動物園などで参加してもらったり、レップジャパンの皆さんには広報関連の取材等でも何度もお世話になりました。今まで活動に関わり、力を貸してくれた人たちに本当に感謝しています。任期は3月末までです。残り約3か月間、町のイベントへの参加はもちろん外岩開拓の集大成としてのイベントも構想中ですので、皆さんラストまでどうぞよろしくをお願いします。

1 図書館カレンダー January 2025

1	WED	休館日
2	THU	
3	FRI	
4	SAT	
5	SUN	
6	MON	休館日
7	TUE	
8	WED	時間のはこぶね
9	THU	はらべこあおむし
10	FRI	
11	SAT	幼児のおはなし会
12	SUN	
13	MON	休館日 (成人の日)
14	TUE	休館日 (振替休日)
15	WED	時間のはこぶね
16	THU	はらべこあおむし
17	FRI	
18	SAT	
19	SUN	
20	MON	休館日
21	TUE	
22	WED	時間のはこぶね
23	THU	はらべこあおむし
24	FRI	
25	SAT	
26	SUN	
27	MON	休館日
28	TUE	
29	WED	時間のはこぶね
30	THU	はらべこあおむし / ブックスタート13時～
31	FRI	休館日 (館内整理)

おはなし会

- ◆小学生向け…時間のはこぶね (毎週水曜15:50～16:20)
- ◆乳幼児向け…はらべこあおむし (毎週木曜10:30～11:50)
- ◆幼児向け…幼児のおはなし会 (第2土曜10:00～10:30)

町立文化の家

図書館だより

No.261

<https://www.town.kawazu.shizuoka.jp/library/>
 〈開館時間〉 9時～18時 土・日は17時まで
 〈休館日〉 月曜・祝日・月末日
 岡町立文化の家図書館 ☎34-1115



★2025 若い人に贈る読書のすすめ

今年も読書推進運動協議会の「若い人に贈る読書のすすめ」運動により、この1年に出版された図書の中から、新たな人生の一步を踏み出す若い人にぜひ読んでもらいたい本24冊が選定されました。その中から文化の家図書館おすすめの本を紹介します。

『夜と跳ぶ』	額賀 滯 / 著	PHP研究所
アナタノキモチ	安田 夏菜 / 著	文研出版
休むヒント。	群像編集部 / 編	講談社
世にもあいまいなことばの秘密	川添 愛 / 著	筑摩書房
読書は鼻歌くらいでちょうどいい	大島 梢絵 / 著	辰巳出版
あらゆることは今起こる	柴崎 友香 / 著	医学書院

★図書館日記★ 高校生インターシップ

12月、稲取高校生4人がインターンシップで図書館の仕事を体験しました。

貸出返却業務・本を棚に戻す作業、絵本コーナーの飾りつけ、乳幼児や小学生への読み聞かせなどを行いました。

慣れない仕事にも笑顔で一先懸命取り組んでくれました。3日間お疲れさまでした。



新着図書案内

ほかにも新着図書があります。貸出中の場合は予約できます。

書名 (一般書)	著者名	出版社	書名 (児童書)	著者名	出版社
ありえない仕事術	上出 遼平 / 著	徳間書店	人口減少社会	岩澤 美帆 / 監修	汐文社
「数字のセンス」と「地頭力」がいきなり身につく東大算数	西岡 忝誠 / 著	東洋経済新報社	体温って何だろう？	永島 計 / 監修	PHP研究所
社会に良いことをする	北沢 みさ / 著	プレジデント社	カキじいさん、世界へ行く！	畠山 重篤 / 著	講談社
モルタルで作るガーデンクラフト51	原嶋 早苗 / 著	主婦と生活社	13歳からのディベートスキル	名和田 竜 / 著	メイツユニバーサルコンテンツ
サブ・ウェイ	佐野 広実 / 著	PHP研究所	ねえだっこ	柿木原 政広 / 作	ブロンズ新社

高齢者の外出を支援

おでかけ支援タクシー



▲おでかけ支援タクシーを利用する町民

町では11月18日から12月20日までの間、貸し切りタクシーを利用した高齢者の外出支援を行う新しい交通システム「おでかけ支援タクシー」の実証実験を行いました。初日の11月18日には、役場前で実際に運行されるタクシーのお披露目をしました。日頃移動に不便を感じている高齢者らの外出促進を図ることを目的に、町内間の移動手段として活用が可能で、今後、実証実験を通して、新しい交通システムの課題や需要を精査していく予定です。

「ありがとう」の気持ちをこめて

わかば保育園勤労感謝の花贈呈



▲園児から感謝の気持ちと共に花束を受け取る役員職員

11月22日、わかば保育園は23日の勤労感謝の日を前に、園児は役場を訪れ、役員職員へ「いつもありがとうございます」と大きな声で感謝の言葉を述べ、花束を贈呈しました。この取り組みは、働いている人たちへ感謝の気持ちを伝えようとわかば保育園が勤労感謝の日になんでも例年行っています。園児は役場の他にも町内事業所や消防署など6カ所を訪れ、日頃の感謝の気持ちを伝えました。

河津桜を植樹

笹原公園河津桜植樹式



▲桜に土を盛る岸町長とクリエイトエス・ディー赤埴支店長

11月23日、旧南中跡地にドラッグストアを整備した大和リース株式会社と、店舗を運営するクリエイトエス・ディーから寄贈された河津桜の植樹式が笹原公園で行われました。植樹式で岸重宏町長は「これまで多くの町民が大切に育て、管理をしてきた河津桜を皆さんの協力を得て大切に育てていきたいです」とあいさつしました。その後、式に参加した関係者と共に、植樹された河津桜の根元に土をかけ、桜の成長を祈願しました。

青山学院大学との連携を確認

青山学院大学との会談



▲稲積学長とWeb会談を行う岸町長

12月9日、包括連携協定を締結している青山学院大学稲積宏誠学長と岸重宏町長は、今後の取り組みや事業展開についてWeb会談を行いました。平成29年に教育・文化の振興、人材育成、魅力ある地域づくり・町づくりなどを目的に連携協定を締結し、これまでカーネーションを通じての交流や、河津中学生の学習交流などを行い、町と大学の交流を深めてきました。

今月の納税

後期高齢者医療保険料6期

1月31日(金)が納期です。

健康増進課 ☎34-1937

国民健康保険税7期、町県民税4期

1月31日(金)が納期です。

町民生活課 ☎34-1928

マチイロ
広報かわづ配信中



お知らせ

家庭生活支援員養成研修

家事や保育を支援するため、ひとり親家庭に派遣する人材を養成します。

とき 2月15日(土)、16日(日)
10時~16時

ところ サンウェルぬまづ大会議室

対象者 家庭生活支援員として生活援助や子育て支援で活動見込みの人

参加費 無料

申込 1月31日(金)まで

住所・氏名・電話番号・託児希望の有無を電話またはメールでお伝えください。

その他 家庭生活支援員の資格取得には2日間の受講が必要です。

☎(公社)静岡県ひとり福祉連合会

☎054-254-5220

上級救命講習の開催

下田消防本部では応急手当の普及啓発のため上級救命講習を下田消防署・西伊豆消防署で開催します。

▶下田消防署

とき 2月16日(日)
8時30分~17時30分

申込 2月2日(日)~2月9日(日)

▶西伊豆消防署

とき 3月9日(日)
8時30分~17時30分

申込 2月2日(日)~3月2日(日)

▶その他 受講料は無料です。

受講申し込みは受講する人が直接お申込みください。

☎下田消防署 ☎22-1889

☎西伊豆消防署 ☎52-0119

海保フェスタ in 下田

下田海上保安部では、海上保安庁の業務紹介と海難救助訓練などに併せ、緊急通報用電話番号「118番」の周知に関するイベントを初開催します。

とき 1月18日(土) 10時~15時

ところ 道の駅開国下田みなと特別展示室及び下田港外ヶ岡岸壁

☎下田海上保安部管理課

☎0558-23-0118

闇バイト強盗に注意

突然訪問してきた見知らぬ人を家に入れないでください。その訪問ももしかしたら「強盗に入るための事前準備」かも…

不審者はこんな人物になりすまして訪問します。

工事業者・不用品買取業者・
保険外交員・リフォーム業者・
官公庁の調査員・通信事業者など

まずはインターホン越しでの対応をし、身分証の提示を求めするなど、気をつけましょう。

見慣れない車や不審な動きをする車など不審に感じたら下田警察署(☎27-0110)へ通報をお願いします。

☎下田警察署管内防犯協会

☎27-2766

伊豆農業研究センター公開デー

伊豆農業研究センターでは日頃の試験研究成果を広く県民の皆さまにお知らせするため、公開デーを開催します。当日は、施設の一部を一般開放、新しい柑橘類の試食、各種研究成果の展示などを行います。

とき 2月1日(土) 9時30分~15時

ところ 伊豆農業研究センター

内容 研究施設(温室、ほ場)公開
研究員による講演【予約制】研究成果の動画上映、パネル展示
ワサビ・花卉の育成品種展示
柑橘類新品種の試食【予約制】

※【予約制】の企画は1月20日(月)までに申込フォームまたはFAXでお申し込みください。

※農産物の販売は行いません



HP



申し込みフォーム

☎伊豆農業研究センター

☎0557-95-2341

FAX 0557-95-0533

E-mail agriizu@pref.shizuoka.lg.jp

林退共のご案内

林退共(林業退職金共済制度)は、林業界で働かれる人のための国が作った「退職金制度」です。事業主の方々が、従業員の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その従事者が林業界をやめたときに林退共から退職金を支払う制度です。

●共済手帳をお持ちの皆さま

▶事業所が変わるときは共済手帳を忘れずに受け取りましょう。

▶林業界から引退したら忘れずに退職金を請求しましょう。

☎独立行政法人勤労者退職金共済機構
林業退職金共済事業本部

☎03-6731-2889

最低賃金が改正されました

静岡県内の特定の産業に従事する労働者に適用される「特定最低賃金」について令和6年12月21日から改正されました。

▶鉄鋼・非鉄金属製造業 1,057円

▶はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具、輸送用機械器具製造業 1,073円

▶電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 1,042円

☎静岡労働局賃金室

☎054-254-6315

町長室展示作品が変わりました

町は、河津町文化協会員の作品を町内外からの来客が多く訪れる町長室で展示しています。

季節に合わせて会員の作品の2カ月ごとに展示を行い、12月~1月は、矢島節子さんの「リンクブーケ」が展示されています。



☎企画調整課

☎34-1924

ひとの動き

戸籍だより

(11月1日～30日届出)



※このコーナーに掲載を希望しない場合は、お申し出ください。

人口と世帯

(12月1日現在)

人口	6,403人	前月比	(-12)
(男)	3,093人		
(女)	3,310人		
世帯数	3,257世帯	前月比	(-2)

相談

身近なこと生活相談へ

とき 2月5日(水) 10時～15時
 ところ 役場 ふれあいホール
 図 社会福祉協議会 ☎34-1286

人権・行政相談

とき 2月5日(水) 10時～15時
 ところ 役場 ふれあいホール
 図 町民生活課窓口係 ☎34-1932

日本年金機構出張相談

三島年金事務所の職員が年金制度についての質問や年金の請求、各種書類の提出などを受け付けます。事前に予約してください。

とき 2月5日(水)
 11時～12時、13時～16時
 ところ 下田市役所(要予約)
 図 下田市役所市民保健課 ☎22-3922

とき 2月14日(金)
 9時～12時、13時～14時
 ところ 東伊豆町役場(要予約)
 図 東伊豆町役場健康づくり課
 ☎0557-95-6304

介護・法律相談

とき 1月15日(水)
 介護相談 10時～12時
 法律相談 13時～15時
 ところ 子育て支援センター
 応接相談室・多目的室
 法律相談は事前に予約してください。
 図 社会福祉協議会 ☎34-1286

介護相談

介護に関するお問い合わせ、相談を受け付けています。
 とき 月曜日～金曜日
 9時～16時 随時受付
 ところ サンシニア河津 相談室
 図 サンシニア河津 ☎32-3203

障害者のための就労相談会

障害のある人の就職や生活面の相談、障害のある人たちを雇用する事業主などの相談に応じます。事前に予約してください。

とき 1月21日(火)
 13時30分～15時30分
 ところ 保健福祉センター
 図 賀茂障害者就業・生活支援センター「わ」
 ☎22-5715

ひとり親家庭相談会

ひとり親家庭の人、お子さんがいて離婚を考えている人を対象に養育費、面会交流、親権、戸籍、慰謝料、財産分与等の相談に応じます。

とき 1月15日(水)
 13時～17時
 ところ 沼津産業ビル2階
 ひとり親サポートセンター
 東部支所(沼津市)
 申込 電話で予約してください。
 図 ひとり親サポートセンター本所
 ☎054-254-1191

無料合同相談会

静岡県士業種連絡交流会は、無料の合同相談会を開催します。弁護士、公認会計士、不動産鑑定士、税理士、社会保険労務士、土地家屋調査士、弁理士、司法書士の専門家が皆さまのご相談にお答えします。

年に1回、県内3会場で8士会合同によりワンストップで行う無料の合同相談会です。事前の予約は不要ですので、相続について、経営のお悩み、法律問題などお気軽にご相談ください。

とき 2月1日(土)
 10時～15時
 (受付開始時間) 10時～
 ところ (東部地区) 沼津労政会館
 (中部地区) 静岡県司法書士会館
 (西部地区) 浜松市市民共同センター
 図 静岡県弁護士会事務局
 ☎054-252-0008



kawazu-jin

河津人

▲地元食材を使った美食ランチ

踊り子温泉会館に入ると、明るい笑顔で出迎えてくれる佐野奈美さん。館内で、食材にこだわったランチや持ち帰りのお弁当を提供する「おふ」を営業しています。佐野さんは、かつてセラピストとして活動する中で身近な人が体調を崩したことをきっかけに食の大切さを実感したそうです。調理師免許を持つ佐野さんは「食」に興味があったことに加え、薬膳に関する勉強も始め、体に優しい食事への造詣を深めていきました。

こだわりは手作りであるべく、添加物を使わない旬のものを使つた料理と、3日間保温発酵させて作る酵素玄米です。佐野さんの作る体に優しい食事に興味を持つ人も多く、「酵素玄米、初めて食べたけどおいしい！」と魅力を知ってもらうことができた。佐野さんは活動の喜びを語ってくれます。美食カフェのオープンに伴い、町内で働くようになり、町内の味噌づくりに参加するなど、町の人のつながりが増えてきたそうです。佐野さんは「おふ」が町内外関わらず、気軽に人々が立ち寄ってくれる場所になることを目指しています。

【取材】森野ゆかりさん（民間広報協力員）



美食カフェ「おふ。」スタッフ

佐野 奈美さん

さの なみ
南伊豆町 45歳

踊り子温泉会館内に美食カフェ「おふ。」を11月にオープン。美食ランチや、体に優しいお弁当など、商品開発するとともにカフェの運営も行う。

食べ物が体をつくる

編集後記

あけましておめでとございます。今年の干支は「巳」、動物にあてはめるとヘビです。へび年について調べてみました。新しい挑戦や変化に前向きな姿勢を示す年、成長や変革の年と言われているそうです。これまでやってみ

かったこと、挑戦していなかったことを始めるきっかけになりそうですね。新年を迎えるにあたり、私自身も成長ができるよう、日々の生活でも挑戦する心を忘れないように頑張らねば！と思えました。(a)

姉妹都市 長野県白馬村通信

白馬の暮らしを過ごす 第3の場所



▲はくばのそらいる内覧会



▲施設外観

子どもたちが勉強したり食事をしたりすることができる、家庭や学校とは異なる「第3の居場所」として、「はくばのそらいる」を開設しました。

地域の宝である子どもたちが個性を大切に、

幸せに白馬での暮らしを過ごせる家庭でもない、学校でもない安心安全な居場所を確保するために、この施設を開設しました。開設にあたり、B & G財団の助成を受け、NPO 法人 kumoi へ補助を行いながら施設の運営を行うため、その調印式と内覧会を12月5日に行いました。子どもたちが白馬村で豊かな時間を過ごせるよう、地域の皆様にもこれからも温かくみまもっていただきたいです。